

# 平成 27 年度 研究計画書

## Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 准教授
氏名 Name	藤井 章吾
専門分野 Academic Field	現代アラブ文学

### 平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	近代エジプトの「近代主義 vs. 伝統主義」の対立と、「文語主義 vs. 口語主義」の対立				
<p>1798 年のナポレオンのエジプト遠征以降、エジプトを中心に近代化を迎えるアラブ世界はそもそも近代化開始時点から、「脱亜入欧」推進派の modernism と、基本的にイスラム回帰派の traditionalism の対立が鮮明化し、この 2 派の対立軸の微妙な「ぶれ」がそれぞれの時代の政治体制のもと、各地のアラブ社会とアラブ文化に影を落とし続けてきた。一方、colloquialism「口語主義」と classicism「文語主義」の対立も、近代アラブ世界では言語と文学に底流し続ける。たとえば「近代主義」1 つとっても複雑な内実をそなえ、「近代主義」=「口語主義」などといった安易な図式は成り立たない。本年度は対照文献を (1) Ahmad Amin『エジプト風俗習慣慣用語事典』、(2) Edward William Lane, An Account of the Manners and Customs of Modern Egyptians の 2 点に絞り、[1]「近代主義 vs. 伝統主義」の対立軸、「口語主義 vs. 文語主義」の対立軸から、上記両作品を再分析・再評価する。[2] 両作品が記述する「口語」と「口語的現象」、あるいは「口語的要素」を拾い出し、分析する。[3] 両作品を manners and customs「風俗研究」(あるいは広げて文化人類学の枠組みの中で) とらえ直し、Amin『風俗習慣事典』が E. W. Lane, Manner and Customs から受けた影響を考察する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	外国文学・文学論	アラビア語教育	アラビア語言語学	文化人類学・民俗学	
キーワード Keywords	アラブ文学	現代エジプト文学	エジプト口語	エジプト民話	口語アラビア語